



-いのちを守る-

遠藤守レポート

都議会公明党・新宿区西新宿 2-8-1 TEL: 5320-7250 / FAX: 5388-1787 <http://endomamoru.com> お気軽にご意見・ご要望をお寄せください。

新産業・教育などで一般質問

3月3日の都議会一般質問に遠藤守が登壇しました。概要を紹介します。

「ソーシャル・ビジネス」育成を

近年、日本でも注目されてきた「ソーシャル・ビジネス」の、すそ野拡大へ都が寄与するよう主張。産業労働局長は、資金調達、経営ノウハウの提供、関係者の交流機会の設定など積極的に取り組む意向を示しました。

【解説】ソーシャル・ビジネスとは、福祉・貧困・環境などの社会的課題に立ち向かう新たな企業スタイル。都のパートナーとして、また、新産業創出という観点から重要ですが、我が国は黎明期。

スクール・アシスタント導入せよ

公立小・中学校の副校長の事務・雑務を補助する「スクール・アシスタント（仮称）」を配置し、教育管理職の負担を軽減するよう提案。教育長は「必要性について検討する」と前向きな姿勢を示しました。

【解説】副校長の多くが様々な雑務に追われ多忙を極めています。児童に向き合う時間の確保や、教職員の指導育成などの本来業務に当たれるよう、環境整備が急がれます。

「離島医療」積極的に支援せよ

ITを使った遠隔医療システムを充実し、離島住民の医療を支援するよう主張。また、島民が本土の病院を往復する際の交通費負

担の軽減を図る財政支援についても強く要望。福祉保健局長は、10月から、都立広尾病院と各島の医療機関を結ぶシステムを大幅拡充する考えを示しました。

【解説】例えば、東海汽船のジェット船を利用した場合、最も近い伊豆大島からでも、患者本人だけで往復約1万円。これに付添者の船賃や宿泊費、都内の移動にかかる交通費や食事代などのこまごまとした支出が加わると、大きな家計負担になります。

羽田の「飛行機騒音」解消急げ

羽田空港の航空機騒音に関し、早朝、大田区臨海部を低空で離陸していく問題や、毎日約100便がこれまで飛行ルートでなかった区内陸部を飛行している問題について、区とも連携し、国に改善要求すべきと訴えました。

トピック

“ミスターがん対策”に新たな実績

“ミスターがん対策”の異名をとる遠藤守の提案(平成19年の第1回定例会一般質問)を受け、都は新年度、「がん登録センター」を立ち上げます。

がん対策の推進には、治療成績などの実態把握が不可欠で、こうしたデータを収集するのが「がん登録」です。計画では、都立駒込病院内に開設されます。